

1 外国人労働者の状況

労働者全体の状況について

- 外国人労働者数は5,063人。
前年同期比で286人(6.0%)増加。

○ 国籍別の状況

- ・ベトナム 1,883人(全体の37.2%) [前年同期比35人(1.9%)増加]
- ・中国 1,075人(同 21.2%) [同 122人(10.2%)減少]
- ・フィリピン 584人(同 11.5%) [同 58人(11.0%)増加]

○ 在留資格別の状況

- ・技能実習 2,635人(全体の52.0%) [前年同期比1.5%減少]
- ・身分に基づく在留資格 846人(同 16.7%) [同 3.2%増加]
- ・専門的・技術的分野 781人(同 15.4%) [同 28.7%増加]

「技能実習」の構成比は、全国における構成比(18.8%)と比べると高い。

○ 地域別の状況

- ・徳島地域 2,201人(全体の43.5%) [前年同期比4.1%増加]
- ・鳴門地域 1,113人(同 22.0%) [同 5.5%増加]
- ・吉野川地域 577人(同 11.4%) [同 2.7%増加]

○ 事業所規模別の状況

- ・「30人未満事業所」が最も多く、外国人労働者数全体の47.7%を占めている。
- ・「30人未満事業所」の構成比は、全国における構成比(外国人労働者数全体の35.8%)と比べると高い。

2 事業所の状況

事業所全体の状況について

- ・外国人を雇用している事業所は1,207所。
前年同期比で61所(5.3%)増加。

○ 地域別の状況

- ・徳島地域 549所(全体の45.5%) [前年同期比6.2%増加]
- ・鳴門地域 300所(同24.9%) [同 1.4%増加]
- ・吉野川地域 130所(同10.8%) [同 5.7%増加]

○ 事業所規模別の状況

- ・「30人未満事業所」が最も多く、事業所全体の66.4%を占めている。
- ・「30人未満事業所」の構成比は、全国における構成比(61.4%)と比べると高い。

3 産業別の状況

- ・外国人労働者が就労している業種、外国人労働者を雇用する事業所数ともに、「製造業」が最も多く、次いで「農業・林業」、「医療・福祉」の順となっている。
- ・「製造業」に就労している外国人労働者数は、全体の34.0%、外国人労働者を雇用する「製造業」の事業所数は、全体の21.6%。「製造業」の構成比は、全国における構成比(外国人労働者数全体の26.6%、事業所全体の17.7%)と比べると高い。
- ・「農業・林業」に就労している外国人労働者数は、全体の13.2%、外国人労働者を雇用する「農業・林業」の事業所数は、全体の14.9%。「農業・林業」の構成比は、全国における構成比(外国人労働者数全体の2.4%、事業所全体の3.9%)と比べると高い。
- ・「医療・福祉」に就労している外国人労働者数は、全体の11.9%、外国人労働者を雇用する「医療・福祉」の事業所数は、全体の11.8%。「医療・福祉」の構成比は、全国における構成比(外国人労働者数全体の4.1%、事業所全体の6.2%)と比べると高い。

4 派遣・請負の状況

- ・外国人労働者を雇用している事業所のうち、労働者派遣・請負事業を行っている事業所数
52所(事業所全体の4.3%)
- ・労働者派遣・請負事業を行っている事業所に就労している外国人労働者数
270人(外国人労働者全体の5.3%)